



2014年度
ディスクロージャー
上半期のご報告

J A バ ン ク 京 都 信 連

京 都 府 信 用 農 業 協 同 組 合 連 合 会

目 次

○地域貢献への取り組み	1
○リスク管理債権残高	4
○金融再生法開示債権区分に基づく保全状況	4
○自己資本の構成	5
○主要勘定の状況	7
○収益等の状況	8
○有価証券等時価情報	8

●金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

【地域貢献への取り組み】

当会は、京都府を事業区域として、地元の JA 等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JA との強い絆とネットワークを形成することにより JA 信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

●地域からの資金調達の状況

当会の平成 26 年 9 月末の貯金残高（譲渡性貯金を含む）は 1 兆 5 8 9 億円となり、うち 9, 7 5 4 億円は府内 JA からお預かりしています。

●地域への資金供給の状況

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいています。また、農業の担い手を金融面から積極的に支援するため、㈱日本政策金融公庫の受託貸付金の活用にも努めています。

●地域密着金融への取り組み

1. 地域農業の発展、活性化を支援するため、農業金融センター機能を拡充し、JA と一体となって次の通り取り組んでいます。

① 農業者等への経営支援に関する取り組み

農業者の協同組織金融機関として、健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを最も重要な役割のひとつとして位置づけ、貸付条件の変更等の相談や申込みに柔軟に対応するとともに、「経営者保証に関するガイドライン」を遵守し、お客さまと保証契約を締結する場合、また保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合にも、本ガイドラインに基づき誠実に対応し、経営改善への取り組みを支援できるよう努めています。

② 農業担い手支援

各 JA に配置の担い手金融リーダーと連携し、担い手のニーズに応えるために、金融面からのサポートに取り組んでいます。

また、㈱日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL）や農業改良資金の活用により、農業者の自主性と創意工夫による経営規模拡大・改善を支援しています。

今後も各 JA との連携を一層強化するとともに、事業間の連携強化に取り組み、農業制度資金はもとより当会農業資金の積極的活用による担い手支援を進めてまいります。

③ JAバンク京都農業被害利子補給事業

農業経営基盤に甚大な被害を及ぼす自然災害により、農業被害を受けられた農業者等へのJA融資に対し、利子補給を行い、金利負担の軽減を図ることで農業経営の復興を支援しています。

④ その他の支援

新規就農者への就農支援資金による支援等、京都府をはじめ関係機関と協調・連携し、活力ある地域農業の支援に努めています。

2. 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

① JAグループ京都担い手対応連絡協議会を通じた取り組み

京都府農協中央会が組織する連絡協議会を通じて、他の連合会と事業間連携・情報交換を図るとともに、資金ニーズの把握等に努めています。

② 担い手に適した資金供給手法の取り組み

・資金コーディネート

農業者の資金ニーズに即した最適な資金提供ができるよう、提案型の相談対応に努めています。

・農業法人等への支援

アグリビジネス投資育成株式会社のアグリシードファンドを活用し、地域の農業発展の核となる農業法人に対する資本増強を、農林中央金庫と連携して取り組んでいます。

3. JAバンクアグリサポート事業（JAバンクアグリ・エコサポート基金）

JAバンクとして、日本の農業・農村に対する支援を行うため、農林中央金庫が主体となって「JAバンクアグリ・エコサポート基金」を設立し、農業振興や環境保全に貢献する事業を全国で展開しています。内容としては「利子助成事業」、「JAバンク新規就農応援事業」、「JAバンク食農教育応援事業」等の事業があり、JAバンクが一体となって以下の活動を行っています。

① 利子助成事業

JAが行う担い手向けなど一定の農業融資に対して、利子助成が行われています。

② JAバンク新規就農応援事業

新規就農希望者を育成するための研修受入先に対して、研修費用の利子助成が行われています。

③ JAバンク食農教育応援事業

「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」をテーマとする補助教材を制作しており、JAバンク京都では、府内の公立小学校5年生全員に教材本を贈呈し、食農教育の理解促進に努めています。

4. 農商工連携応援ファンドを通じた支援

当会では、京都府や地元金融機関、京都府農協中央会とともに「きょうと農商工連携応援ファンド」に対して資金を拠出し、府内の農林漁業者と中小企業者の密接な連携による新たな京都ブランドの創造や農業経営の改善・向上を図る取り組みに対して支援を行っています。

●文化的・社会的貢献に関する取り組み

1. 「全日本大学駅伝対校選手権」への協賛・支援

全国のJAバンクで協賛する「全日本大学駅伝対校選手権」の関西地区予選会で支援活動を行い、青少年育成支援とスポーツ振興に取り組みました。

2. 「年金友の会」活動支援

府内JAで年金をお受け取りいただいている「年金友の会」会員の皆さまの、地域における様々な活動を支援しています。

また、「年金友の会ご紹介キャンペーン」を展開し、より多くの皆さまにご参加いただけるよう取り組んでいます。

3. 「赤い羽根定期積金」による福祉活動への支援

府内の福祉活動（高齢者や障がい者・児童への福祉活動やボランティア活動）に取り組む京都府共同募金会を支援するため、JAバンク京都では「赤い羽根定期積金」を取り扱い、その契約高の0.01%にあたる寄付金の贈呈を行いました。

4. 年金相談会・住宅ローン相談会の開催

府内JAの各店舗における「年金相談会」、「住宅ローン相談会」の開催を支援し、地域の皆さまの相談ニーズに応えられるよう、相談員の派遣や資材の提供などに取り組みました。

5. 広報活動

テレビ番組「あぐり京都」（企画・提供：JAグループ京都）、「夢追人～農に生きる～」（提供：JAバンク）やラジオ番組への協賛などを通じて、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めています。

【リスク管理債権残高】

(単位：百万円)

	平成26年3月末	平成26年9月末	増	減
破綻先債権額	0	0	—	—
延滞債権額	372	133	△ 238	—
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—
リスク管理債権合計	372	133	△ 238	—

【金融再生法開示債権区分に基づく保全状況】

(単位：百万円)

平成26年3月末	債権額	保全額	保全状況		
			担保	保証	引当
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0	0	—	—	0
危険債権	372	372	30	249	93
要管理債権	—	—	—	—	—
小計	373	373	30	249	93

平成26年9月末	債権額	保全額	保全状況		
			担保	保証	引当
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0	0	—	—	0
危険債権	133	133	28	13	91
要管理債権	—	—	—	—	—
小計	133	133	28	13	92

(注) 平成26年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更する方法により算出しています。

【自己資本の構成】

(単位：百万円、%)

項目	金額	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員資本の額	57,977	
うち、出資金及び資本準備金の額	32,681	
うち、再評価積立金の額	1	
うち、利益剰余金の額	25,295	
うち、外部流出予定額(△)	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	2,934	
うち、一般貸倒引当金及び相互援助積立金コア資本算入額	2,934	
うち、適格引当金コア資本算入額	-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	16,153	
うち、回転出資金の額	1,153	
うち、上記以外に該当するものの額	15,000	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価格の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	77,065	
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	-	2
うち、のれんに係るものの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	-	2
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-
特定項目に係る10パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-

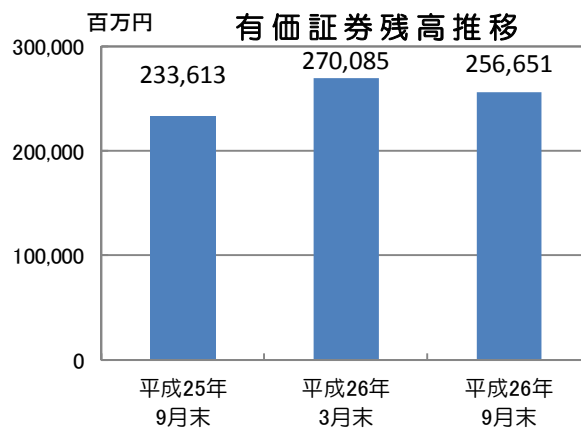
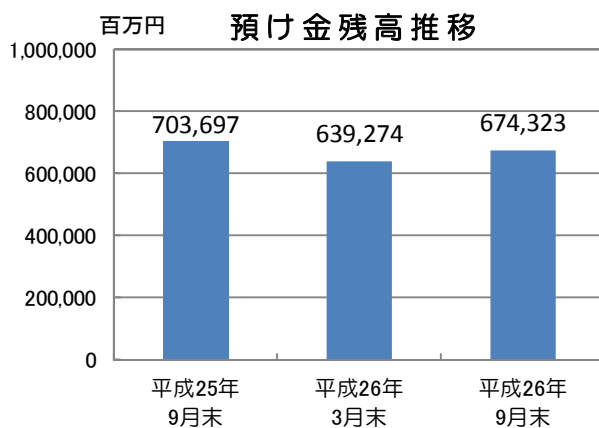
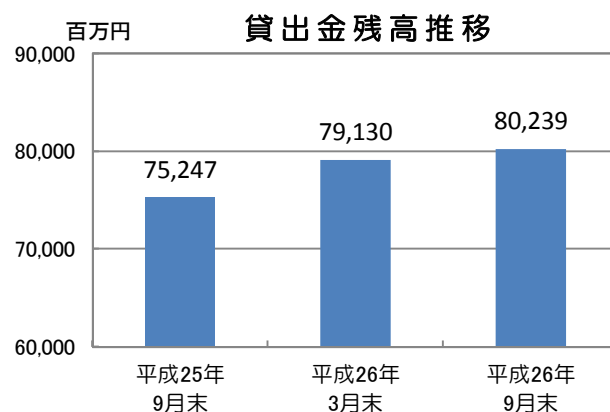
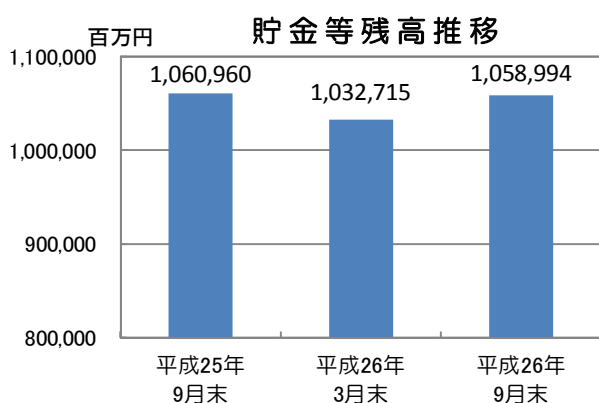
特定項目に係る15パーセント基準超過額		-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額		-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額		-	-
コア資本に係る調整項目の額	(ロ)	-	
自己資本			
自己資本の額（(イ) - (ロ)）	(ハ)	77,065	
リスク・アセット等 (3)			
信用リスク・アセットの額の合計額		300,920	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		△ 64,377	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）		2	
うち、繰延税金資産		-	
うち、前払年金費用		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー		△ 64,379	
うち、上記以外に該当するものの額		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額		5,912	
信用リスク・アセット調整額		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額		-	
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ)	306,832	
自己資本比率			
自己資本比率（(ハ) / (ニ)）		25.11%	

【主要勘定の状況】

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年3月末	平成26年9月末
貯金等	1,060,960	1,032,715	1,058,994
貸出金	75,247	79,130	80,239
預け金	703,697	639,274	674,323
有価証券	233,613	270,085	256,651

(注)貯金等には、譲渡性貯金が含まれています。



【収益等の状況】

(単位：百万円)

	平成24年9月末	平成25年9月末	平成26年9月末
経常収益	5,737	6,383	6,506
経常利益	1,656	2,206	2,233
当期剰余金	1,232	1,653	1,480

【有価証券等時価情報】

○有価証券

(単位：百万円)

区分	平成26年3月末			平成26年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	49,558	50,303	744	44,323	44,919	595
その他	215,619	220,526	4,907	207,130	212,327	5,197
合計	265,177	270,830	5,652	251,454	257,247	5,793

注 平成26年9月末有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券およびその他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

○金銭の信託

(単位：百万円)

区分	平成26年3月末			平成26年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
運用目的	2,441	2,446	4	3,000	3,111	111
満期保有目的	60,000	62,283	2,283	60,000	62,355	2,355
その他	2,000	1,999	△0	2,000	1,999	△0
合計	64,441	66,729	2,288	65,000	67,466	2,466

注 平成26年9月末金銭の信託の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価額は、運用目的金銭の信託については取得価額を、満期保有目的金銭の信託およびその他の金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

発行 / 平成 26 年 12 月 編集 / JA バンク京都信連 総務部

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町 1 番地

TEL 075-681-2413 FAX 075-691-1153

URL <http://www.jabankkyoto.or.jp/s/>